

「教えて いいのかな」

(参観のキーワード：心メーターの活用)

— 学習すること (ねらい) —

◎主人公の揺れる気持ちを通して、危険を防ぎ、安全に生活しようとする大切さについて考えを深めます。



— ねらいとする道徳的価値は —

節度。
節制

2年生になり、学校生活にも慣れ、少しずつ、子供だけで行動することが増えてきました。特に夏休みなどの長期休業には、夕方に子供だけで過ごすこともあるかもしれません。低学年では、学校での日々の安全指導、交通安全、避難訓練など、安全に関する学習を受けているものの、その場に応じて対応する力は十分ではありません。情報モラルとも関連づけ、安全な生活とはどのようなことなのか、子供たちに考えてほしいと思っています。

— この授業で使う資料について — (出典：小学どくとく2年「教えていいのかな」教育出版)

学校からの帰宅後、お母さんが帰るまでの間に電話がなります。電話の相手先は、友達のお母さんを名乗り、連絡先を教えてくださいと言います。「人の電話番号は教えてはいけない。」とはわかってはいるものの、「急いでいるから。」と言われると迷ってしまいました。断った場合どうなるのか、教えた場合はどんな事になるかと、子供たちにいろいろな結果を考えさせたいと思います。

多様な考え方を知り、危険を防ぎ、安全に生活するために必要なことは何かを深く考えさせるようにしたいと考えています。

— 学習活動と主な発問 —

1 自分の生活経験を話し合う。

◎お家でお留守番することはありますか。そのときに気をつけていることはなんですか。

2 「教えていいのかな」を読み、話し合う。

◎電話の出方を先生にほめられたときの気持ちはどうだったでしょう。

◎電話の相手から電話番号を教えてくださいと言われたとき「ぼく」はどう考えたでしょう。

◎「あわてて電話を切る音がした。」時、ぼくはどんな気持ちになったでしょう。

3 自分の生活を振り返り、危なかった経験について発表する。

◎みんなは、今まで危なかったなと思うことはありますか。そのような時はどうすればよいと思いますか。

4 教師の話を聞く。



— 子供たちのこんな姿を期待します —

自分がとった行動でどんなことが起こるのなど、いろいろな場面に思いを巡らせながら、お家の人や学校で言われていることは、自分の安全な生活のために大切なことなのだと気づいてほしいと願っています。